

# 滋賀大学教育学部 附属学校園 後援会だより 第1号



令和元年 7月19日 発行

平素より皆様には、滋賀大学教育学部附属学校園後援会の運営につきまして、ご支援いただき厚くお礼申し上げます。

滋賀大学教育学部附属学校園後援会は、膳所キャンパスに校舎を移転する際に、その移転費用を学内だけでなく広く地域の方々にも寄付していただくことを目的に、昭和37年(1962年)10月に発足しました。その後変遷を経て、現在は、附属幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校に学ぶ子どもたちの教育環境整備及び教育・研究活動に対する援助を行い、附属学校の教育・研究の発展に寄与することを目的とし活動しています。

ここ近年、附属学校を取り巻く財政的状况は年々厳しさを増しており、国からの予算だけではなく、自主的・持続的な資金の確保による附属学校の財政基盤の強化が必要な状況になってきている現状を知り、後援会においても運営方針等を見直してきました。

4月に附属学校園も「いまを生きる基金」を設立され、最初の事業として膳所・際川キャンパスのプールの改修を目的とされています。このような大変厳しい財政的状况の中、後援会においては子どもたちに少しでも必要な教育環境を提供できるよう滋賀大学・附属学校園・同窓会と連携・協働を図りながら運営していきたいと考えています。

また、滋賀大学学長様や教育学部長様とも意見交換の機会を必要に応じてもたせていただき、附属学校園の必要性等を後援会の立場からも述べさせていただいています。後援会は、附属学校園の子どもたちの成長を支える応援団としての役割を果たさなければならないと思っています。

この度、入会金から「附属学校園 いまを生きる基金」に500万円寄付をさせていただきました。当面の目標であるプール改修のために役立てていただきたいと思います。

今後とも、会員の皆様の温かいご支援とご協力をいただきますようお願いいたします。

後援会会長 中井 清津子

後援会は、  
会員の皆様と共に、  
附属学校園と共に、  
子どもたちの応援団  
としてがんばります。



後援会役員と学長、教育学部長



基金への寄付目録を学長に手渡しました